大分市地域まちづくりビジョン

明野地域 まちづくりビジョン フォローアップ会議 通信 第5号

発行：令和６年３月１日　明野地域まちづくりビジョンフォローアップ会議事務局

12 月に開催された「明野地域まちづくりビジョンフォローアップ会議」についてご報告します。
市から委嘱を受けた各団体の代表が参加し、地域の課題や将来像について地域と行政それぞれの活動報告や意見交換を行いました。

■フォローアップ会議の目的

個性を活かした魅力ある地域づくりを推進するため、市内 13 地域において、地域が目指すまちの将来像やその実現に向けた取り組みをまとめた「地域まちづくりビジョン」を策定し、平成 30 年 7 月に地域から市長に提言いたしました。

ビジョンの実現に向けて市民と行政が一緒にまちづくりを進めるため、地域や私たちができることのテーマでビジョンに掲げる事業の取組状況を報告し、その進め方や課題などについて情報共有や意見交換を行うものです。

■明野地域まちづくりビジョン フォローアップ会議

日時:令和 5 年 12 月 18 日（月）18：00～
場所:あけのアクロスタウン　アクロスホール
【議事】
- 地域まちづくりビジョンに掲げる事業の取組状況について
- フォローアップ会議のあり方について
- 意見交換

■ビジョンに掲げる取組の状況及び意見交換について（抜粋）

○提言 1「多世代が交流する地域コミュニティの新構築を」

【取組 8　地域のつながり強化】
- 明野地区スポーツ大会　4 年ぶりに開催（実施日：令和 5 年 10 月 29 日）（地域）
- 明野地区芸能祭　4 年ぶりに観客を入れて開催（実施日：令和 5 年 11 月 11 日）（地域）
- 健康づくり講演会
  「音楽で心も身体も生き生きと」（音楽療法公開ワークショップ）
  「明日からできる認知症予防」（講演会）
  （実施日：令和 5 年 11 月 12 日　参加者：約 100 名）（地域・行政）
- 明野創生まちづくり交流会（消防団について）
  （実施日：令和 5 年 11 月 15 日　参加者：約 40 名）（地域・行政）
- 三世代交流健康づくり・防災対策事業(北校区 餅つき体験会)
  （実施日：令和 5 年 12 月 2 日　参加者：約 150 名）（地域・行政）

（健康づくり講演会）

（餅つき体験会）

（明野まつり）

【取組 9　ふるさと意識の醸成】
- 明野まつり（実施日：令和 5 年 7 月 22 日、23 日）（地域）

【取組 10　地域グループの創生と次世代のリーダー育成】
- 明野の歴史・魅力発見事業
  「明野の歴史をたどる」マップ(令和 4 年度作成）を学校等に配布、まち歩き学習会の教材として活用（地域）

（「明野の歴史をたどる」マップ）

【取組 12　高齢者を支えるネットワークの構築】
- 愛の訪問事業（行政）
- 食の自立支援事業（行政）
- 緊急通報サービス事業（行政）
- 敬老会、ふれあいグラウンドゴルフ大会、単身高齢者春の交流会を実施

（単身高齢者春の交流会）

■子ども会について（意見交換）

委員意見
➡子ども参加の行事は子ども会が不可欠であるが、年々加入者が減少しているため対策が必要である。

大分市
➡全市での加入率は約 6 割であり、未加入の原因は地域によりさまざまであると認識している。加入に向けた対策として、子ども会活動の紹介のチラシやハンドブックの YouTube 版を作成している。今後も子ども会活動の大切さを伝える取組を継続していきたい。

○提言 2「明野を総合防災拠点に」

【取組 3　幹線道路整備と歩道の改良】
- 「庄の原佐野線滝尾・明野地区促進期成会」
  要望活動（大分河川国道事務所・大分県他）（地域・行政）
- 県道松岡日岡線猪野団地入口交差点改良工事実施中（行政）

（要望活動・大分県）

（要望活動・大分県議会）

■防犯カメラの設置について（意見交換）

委員意見
➡防犯カメラ設置に向け作業を進めているが、設置後 5 年を経過すると多額の維持管理費がかかると聞いており懸念点である。

大分市
➡新たな設置のための補助制度はあるものの維持管理の補助はなく、今後設置率が増えた際は検討が必要と考える。

○提言 3「新しい試みと魅力の発信を」

【取組 7　多様な世代に対応した住宅の供給】
- 民間活力による県営住宅建替事業について県から整備概要やスケジュールが示された（地域）

■公園遊具設置について（意見交換）

委員意見
➡遊具が整備されている公園の遊具は更新しているが、未整備の公園は新設してくれない。身近な自治区の街区公園にも設置を希望。

大分市
➡団地開発や県の造成時に作られた公園をそのまま引き継ぎ管理している。要望は把握しており、今後も適正な配置に努めていく。

■明野緑地の整備について（意見交換）

委員意見
➡高木を剪定し、明るい緑地に整備してほしい。

大分市
➡調査を行い、老朽化した樹木の剪定等を検討する。

○提言 4「多様な文化活動の広がりと深まりの推進を」

【取組 13　明野ブランドの創生】
- クリーンアップ歩こう会 in 明野、青空マーケット
  （実施日：令和 5 年 11 月 3 日　参加者：約 650 名）（地域・行政）

（クリーンアップ歩こう会 in 明野）

（青空マーケット）

※明野地域の 4 つの提言、13 の取組については裏面をご覧ください

フォローアップ会議委員　（20 名）
【会　長】小野　昭三郎（明野地区自治会連合会会長）
【副会長】山田　軍才（明野校区公民館長）
【委　員】明野地区自治会連合会・明野地区社会福祉協議会・明野地区婦人団体連絡協議会
明野地区健康推進員協議会・明野地区老人クラブ連合会・明野地区民生委員児童委員協議会
明野地区防災士連絡協議会・明野地区クリーン推進員協議会・明野地区青少年健全育成連絡協議会
明野地区小中学校 PTA・明野地区スポーツ協会・明野地区人権尊重推進協議会
明野地区交通安全協会・次世代の会明野想成塾

（意見交換の様子）

本回覧物は大分市ホームページにも掲載しています　■お問い合わせ：大分市市民部明野支所　☎５５８－１２５５

明野地域まちづくりビジョン『提言』

提言１　多世代が交流する地域コミュニティの新構築を

明野地域のこれまでのコミュニティ形成においては、恵まれた生活環境と職縁の役割が大きかったが、時代の変遷とともに変化する生活様式や価値観に対応できる新しい地域ネットワークが必要である。隣人の顔が見えるふれあいを積み重ね、多世代が交流する地域コミュニティの新構築への行動が求められている。

【事業番号１，８，９，１０，１１，１２】

提言２　明野を総合防災拠点に

安心して暮らせるまちを実現するためには、地域が一体となった防災・防犯対策が不可欠である。幹線道路や公園などインフラの骨格が充実した立地特性を生かし、災害避難時を想定した道路整備等のハード面からご近所の安否伝達等のソフト面まで、まちづくりの知恵を持ち寄り、地域防災を研究・実施する大分市の総合的な防災拠点となることが望まれる。【事業番号２，３，５】

提言３　新しい試みと魅力の発信を

新産業都市企業群を支える新興団地起工から５０年、ゆとりある住まいは生活者の利便性だけでなく、生産活動の一翼をも担っている。そのような明野には、新しい住まい方を提案する住環境整備、多世代交流を推進する施設整備、利用実態に即した公園整備など、新しい試みのモデル地区として、その魅力の発信が必要である。

【事業番号４，６，７】

提言４　多様な文化活動の広がりと深まりの推進を

明野地域の三大行事（大体育祭、明野まつり、芸能祭）は住民交流の場として定着し、地域の融和や団結への期待は今も大きい。交流による出会いは、人と人をつなぎ、まちへの愛着と文化をはぐくみ、次代の担い手育成の契機となる。交流文化の灯が絶えぬよう、多様な文化活動の広がりと深まりを推進したい。【事業番号１３】

明野地域まちづくりビジョン会議

平成 30 年７月

番号	取組名	概要
1	コミュニティ新構築のための多世代交流	高齢者の技能や技術、知識の継承、さらには生きがいづくりや居場所づくりの解決を図るために、多様な組織や人材が活動する拠点施設が必要である。建設の際には、支所の配置、在り方について検討した上で、支所を核施設に図書館や各種交流施設、研修施設等を複合した「多世代交流プラザ」を建設する。
2	明野を総合防災拠点に	明野は地理的、地勢的にも優位性にあることから、防災訓練機能を備えた拠点施設を主とし、子ども科学館を併設した複合的な施設を建設する。
3	幹線道路整備と歩道の改良	・慢性的な交通渋滞解消のため、庄の原佐野線の早期延伸と、それに先行する大分臼杵線の４車線化を要望する。 ・松岡日岡線の交差点改良、沿線の用途地域変更による地域商業の活性化を推進する。 ・団地内の美化とともに災害発生時と交通安全を見込んだ無電柱化と、歩道のバリアフリー化を図る。
4	公園・緑地の整備と利活用	・公園が日常的な交流の場となるよう、マルシェやフリーマーケットを開く。 ・スポーツ利用のゾーンは憩いのゾーンとは別に、効果的な整備ができるようにする。アクティビティ器具を導入し、多世代に魅力ある運動遊びを提示する。
5	防犯のための環境設計	社会状況の変化によって、防犯や交通安全の機能が相対的に低下してきている。子どもの見守り活動の実施、危険な場所の点検や改善など、防犯性の高いまちとなるよう環境設計を行う。
6	コミュニティバスの運行などの公共交通網の整備	事業者、医療・福祉機関、自治会、行政の協働でコミュニティバスの運行を行うなど、さまざまな方法により公共交通の整備を検討する。
7	多様な世代に対応した住宅の供給	老朽化した公営住宅が再建の段階にきている。多様なニーズに対応できる住宅を供給するために、高層化やエレベータをつけるなど改良が望まれる。
8	地域のつながり強化	・地域のつながりを強化するため、コミュニティ・スクールの導入に向け、地域、中学校、小学校、家庭の連携を深める。 ・子ども同士および子どもを介したコミュニティの新構築を図り、ライフステージに応じた地域での役割を用意する。
9	ふるさと意識の醸成	近年では、小学生へ明野の歴史講座や明野音頭の指導を行っており、ふるさと意識を醸成していく良い機会ととらえている。子どもたちのふるさとへの関心を深め、地域活動への参加意識を高める。
10	地域グループの創生と次世代のリーダー育成	・地域の活力を継続的に発揮するには、子育て世代が地域活動に関わることが最良のエネルギーであることから、横のつながりをつくり上げ、地域グループによる積極的な活動を行う。 ・他地域と比べ青年層の就業者が多いことから、地域行事に積極的に参加するよう働きかけ、次世代のリーダーとして育成する。
11	自治会区域の再検討	都市内分権を進める上では、自治会区域の再検討が必要である。円滑な運営、きめ細かな世話活動のために、実態を考慮し可能な限り規模の均等化を行う。
12	高齢者を支えるネットワークの構築	高齢者を地域でお互いに見守り・支え合うネットワークを構築し、豊かな地域福祉を実現する。
13	明野ブランドの創生	住民の交流と融和、生活のしやすさや教育環境、明野らしい文化・アート活動等を地域の価値として、明野が誇る地域ブランド・イメージを強化する。